

入札監理小委員会における審議結果報告

防衛省中央 OA ネットワーク・システム運用管理役務

防衛省中央 OA ネットワーク・システム運用管理役務について、当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

1. 事業概要及びこれまでの経緯について

本事業は公共サービス改革基本方針（平成 23 年 7 月 15 日閣議決定）別表において、新規の事業として選定されたものであり、防衛省市ヶ谷地区所在の 8 機関が利用する中央 OA ネットワーク・システムの運用管理を実施するものである。

民間競争入札の導入に伴う総合評価落札方式の採用、従来の実施状況の開示等により新規参入を促進している。

2. 実施要項（案）の審議結果について

【論点 1】

確保されるべきサービスの質の設定について、稼働率を毎月 99.9%以上必要とするならば、総合評価基準に反映させるべき。

【対応 1】

契約後に S L A（サービスレベルアグリーメント）を締結する項目の一つであるため、稼働率のみならず、締結する S L A 全体として、目標を達成するための体制、方法について、評価基準の任意項目に追加した。（資料 1-2：P14～15、P107～108、P111）

【論点 2】

技術点の配点において、評価項目の定義付けが障害管理、問題管理、リリース管理のような狭義なもの、IT オペレーション管理といった広義のものとを並べてしまうと、評価項目に重複感があり、また配点にも大差があるため、評価項目の定義付けと評価基準の見直しをすべき。

【対応 2】

対象業務の内容に「保安全管理」、「セキュリティ管理」及び「役務実施報告」の新たな定義付けを行い、「IT オペレーション管理」に記載していた内容をそれらの新たな定義と「サービスデスク」の内容の一部に振り分けて修正した。（資料 1-2：P7～8、P26、P44、P60～77、P82、P102、P108、P112～113、P118～119）

【論点 3】

本事業に関する満足度調査のアンケート対象者が全職員ではなくシステム担当者に限定されるため、アンケート回収率を設定したほうが良いのではないか。

【対応 3】

アンケート回収率を 80%と設定した。（資料 1-2：P9～10）

3. パブリックコメントによる対応について

平成 28 年 6 月 13 日から 7 月 4 日まで実施したパブリックコメントにおいて、2 者から 5 件の意見が寄せられた。2 件については意見を踏まえ、以下の修正を行った。

- ・ 法令番号等の追記（資料 1-2：P21、P22）
- ・ 再委託について、法第 15 条において準用する法第 10 条に規定する者に再委託してはならないことを追記（資料 1-2：P14、P18）

以上